

HIV 検査・相談マップを用いた HIV 検査相談施設の情報提供と利用状況の解析

研究分担者：佐野 貴子（神奈川県衛生研究所 主任研究員）

研究協力者：今井 光信（田園調布学園大学）、近藤 真規子（神奈川県衛生研究所）、
須藤 弘二（慶應義塾大学医学部）、加藤 真吾（慶應義塾大学医学部）、
星野 慎二（特定非営利活動団体 SHIP）、井戸田一朗（しらかば診療所）、
清水 茂徳（東日本国際大学）、杉浦 太一（株式会社 CINRA）、
市川 誠一（人間環境大学）

研究要旨

保健所等の HIV 検査相談施設や HIV 検査に関する最新情報、HIV/エイズの基礎知識などを継続的に提供し、国民の HIV/エイズへの理解促進や検査希望者の受検サポートを目的としたホームページ「HIV 検査・相談マップ」（<http://www.hivkensa.com>）の管理・運営を行った。本サイトによる情報提供の効果を調査するため、サイトアクセス解析と受検者および検査担当者へのアンケート調査を行った。

年間サイトアクセス数は、2015 年は 186 万件、2016 年は 151 万件となり、2016 年のアクセス数は 2015 年と比較して 19% 減となった。スマートフォンからの訪問数は、2015 年は 144 万件、2016 年は 122 万件であり、総アクセス数の約 8 割を占めた。訪問者別割合では新規訪問者が約 6 割、リピーターが約 4 割であり、一定数の複数回利用者の存在が分かった。月別アクセス数では、2015 年は 5 月から 10 月までは前年度を下回っていたが、11 月は米国俳優の HIV 感染公表のニュースにより前年度比 40% 増となったのに対し、2016 年は毎月 11~14 万件とほぼ横ばいであった。日別アクセス数でも、2015 年は米国俳優の HIV 感染公表のニュースにより、報道後 4 日間で約 9 万件のアクセスがあったが、2016 年は、11 月 30 日に STI/HIV 検査啓発資材（セーラームーン）の報道により一日に約 18,000 件のアクセスがあった以外には、突出してアクセス数が高い日は無かった。一日に 5,000 件を超えた日は、2015 年は年間を通して 107 日あったが、2016 年は 26 日しかなく、2016 年は国民に対して HIV/エイズの関心を引くニュースが少なかったことが示唆された。

受検者の HIV 検査情報の入手方法を調査するために、MSM 対象の特設検査会で実施されたアンケート調査結果を解析したところ、35% は当サイトから情報を入手していたことが分かった。また、HIV 検査相談に関する全国保健所アンケート調査において、本サイトの利用状況等を保健所 HIV/エイズ対策担当者に聞いたところ、担当者の約 9 割は当サイトを閲覧したことがあり、約 8 割は HIV 検査相談事業に役立っているとの回答であった。

2001 年の開設から 2016 年末で 1,702 万アクセスを超え、現在も多くの方に利用いただいている。当サイトは、日本赤十字社での献血者への配布文書や自治体サイト、啓発用パンフレット等において多方面で紹介されており、行政的にも有効活用されている。検索エンジンでも HIV/エイズ関連検索で常にトップに表示されており、厚生労働省の研究班が提供している信頼性の高いサイトとして多くの方に利用されていると考える。その結果、自治体等で実施されている HIV

検査相談事業にも寄与しており、その展開・発展に不可欠なツールとなっている。今後も正確で最新の HIV 検査情報を提供していくとともに、更なる HIV/エイズの理解促進と、受検アクセスの向上に寄与したいと考えている。

A. 研究目的

保健所等の HIV 検査相談施設の情報や HIV/エイズの基礎知識などを継続的に提供し、検査希望者への情報提供・受検サポートや HIV/エイズの理解促進を目的としたホームページ「HIV 検査・相談マップ」(<http://www.hivkensa.com>) の管理・運営を行った。また、アクセス解析やアンケート調査を行い、サイト利用状況等の調査を行った。

B. 研究方法

1. 新規情報掲載、情報修正作業

保健所等 HIV 検査相談施設で実施されている定期検査や不定期に実施される検査イベント情報、また、HIV・エイズに関する基礎知識等について、ホームページ「HIV 検査・相談マップ」(PC サイト、スマートフォンサイト、携帯電話サイト) に掲載し、情報提供を行った。PC サイトは 2001 年 9 月に開設、携帯電話サイトは 2003 年 4 月に開設し、2009 年 10 月に PC サイトおよび携帯電話サイトともにリニューアルを行った。2013 年にはスマートフォンサイトを開設した。

定期のページ更新作業としては、2 月に新年度の検査日程等の情報確認のため、自治体等の詳細情報掲載施設に情報確認依頼文書を送付し、修正作業を行った。また随時の作業として、新規掲載、掲載情報修正、検査イベント情報の掲載等を行った。

また、2015 年度は、全ページにゲイ向け HIV 情報サイト「HIV マップ」

(<http://www.hiv-map.net>) と HIV 陽性者向けサイト「Futures Japan」

(<http://futures-japan.jp>) のリンクを設置した。2016 年度は外国語ページ(英語、ポルトガル語、スペイン語、タイ語、中国語、タガログ語、韓国語、ベトナム語、やさしい日本語)

の新規作成を行った。

2. サイト利用状況の調査 — Web 解析 —

本サイトのアクセス解析には「Google Analytics」を用いて、サイトアクセス数(年別、月別、日別)、情報端末別訪問数、新規・リピーター割合、検索都道府県別のアクセス数、参照元からのアクセス数等を調査し、利用者の動向、HIV/エイズ報道によるアクセス数の影響等を調査した。また、検索エンジン(Google、Yahoo! JAPAN、bing)での検索用語順位解析には「検索順位ツール GRC」を用い、HIV/エイズ関連キーワードによる検索順位を解析した。

3. サイト活用状況の解析 — アンケート調査 —

特設検査施設(MSM 対象検査会)の受検者および保健所 HIV/エイズ担当者に対しアンケート調査を実施し、サイトの活用状況を解析した。

C. 研究結果

1. 新規情報掲載、情報修正作業の状況

保健所等 HIV 検査相談施設の掲載数は、2015 年は 666 箇所、2016 年は 664 箇所であった(図 1)。検査イベント情報の掲載依頼は、2015 年は 157 件、2016 年は 186 件、情報修正依頼は、2015 年は 345 件、2016 年は 373 件であった。検査イベント情報の掲載依頼および情報修正依頼ともに、2016 年は 2015 年より 1~2 割依頼数が増加した。

新規事項としては、2015 年度には、全ページにゲイ向け HIV 情報サイト「HIV マップ」(<http://www.hiv-map.net>) と HIV 陽性者向けサイト「Futures Japan」(<http://futures-japan.jp>) のリンクを設置し、幅広い HIV 関連情報の提供に努めた(図 2)。

2016 年度は新たに外国語ページ(8 か国語 + やさしい日本語)を作成した(図 3)。内容とし

ては、HIV検査についての解説、検査施設紹介、電話相談リストの掲載を行った。

2. サイト利用状況の調査 - Web解析 -

PCサイト、スマートフォンサイト、携帯電話サイトでの2001年から2016年末の合計アクセス数は約1,702万件となった(図4)。年間サイトアクセス数は、2015年は186万件、2016年は151万件であり、2016年は2015年と比較して19%減となった。情報端末別では、スマートフォンからのアクセス数は、2015年は144万件で、総アクセス数に占める割合は78%、2015年は122万件、81%であった(図5)。2016年のアクセス数は2015年に比べて15%の減少となっていたが、スマートフォンの利用割合は増加していた。一方、PCからのアクセス数は、2016年は前年比27%減、携帯電話経由は55%減となり、どちらの端末も年々減少傾向が続いていることが分かった。訪問者別割合は、2015年は新規訪問者が59%、リピーターが41%、2016年は新規訪問者が63%、リピーターが37%で、約4割は複数回利用していることが分かった(図6)。月別アクセス数は、2015年では、5月から10月までは前年度を下回っていたが、11月は米国俳優のHIV感染公表のニュースにより前年度比40%増となった(図7)。2016年は毎月11~14万件とほぼ横ばいで推移し、突出してアクセス数が多い月は見られなかった。日別訪問数をみると、2015年で一番アクセス数が多かった日は、11月18日の米国俳優感染公表のニュース関連で36,946件、次いで、5月28日のエイズ動向委員会報告関連で28,144件、11月24日のエイズ動向委員会報告関連で17,918件であった(図8)。米国俳優のHIV感染公表のニュースでは、前日のアクセス数は5,123件であったが、ニュース当日の11月17日の日別アクセス数は24,702件と前日比約5倍増、翌日の11月18日は36,946件と約7倍増、11月19日は15,059件、11月20日は10,314件であり、本ニュース関連で約9

万件のアクセスが見られた。2016年で一番アクセス数が多かった日は、11月30日のSTI/HIV検査啓発資材(セーラームーン)の報道で18,178件であった。この啓発資材にはHIV検査・相談マップのサイトアドレスも掲載された(図9)。一日に5,000件を超えた日は、2015年は年間を通して107日あったが、2016年は26日と4分の1に減少した。

都道府県別のアクセス数では、2015年、2016年ともに東京都が最も多く、次いで大阪府、神奈川県、愛知県、埼玉県、兵庫県と続き、ほぼ人口順であった(図10、11)。

参照元からのアクセス数を見たところ、2015年、2016年ともにGoogle検索からのアクセスが一番多く、続いてYahoo! JAPAN検索、直接アクセスとなった(図12、13)。2016年のチャンネル別のアクセス割合を見ると、検索エンジンからのアクセスが77%、直接アクセスが12%、他サイトからのアクセスが11%、SNSからのアクセスが0.5%であった(図14)。他サイトのリンク元からのアクセス数をみると、2016年は「はじめての性病検査(<http://self-medical.info/>)」から約4.9万件と最も多かった(図15)。また、ゲイ向けサイトが上位10位中5サイトあり、MSMの方にも利用されていることが示唆された。公共サイトに限ってリンク元を見たところ、「東京都福祉保健局(<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/>)」が5,502件、「東京都南新宿検査相談室(<http://www2.tmsks.jp/>)」が1,489件と多かった(図16)。

検索エンジン(Google、Yahoo! JAPAN、bing)の2016年12月での検索用語別表示順位を調べたところ、検索用語が「HIV」では1位、「エイズ」では2~3位であったが、「AIDS」では15位であった(図17)。「AIDS」と「検査」の検索用語を組み合わせると1位となった。

サイト内の「お問い合わせ」フォームからの問い合わせ内容としては、2015年、2016年とも

に、受検した検査施設の不安、苦情、要望（注射器・手袋からの感染不安、検査施設の対応、予約が取れない等）やHIV検査を受けるにあたっての質問（結果通知の方法、性感染症検査、聴覚障害者の受検）が多く、その他、リンク・アドレス紹介・内容引用希望、検査結果の解釈について等があった（図18、19）。

3. サイト活用状況の解析 —アンケート調査—

受検者、特にMSMの方のHIV検査情報の入手方法を調査するために、2015年9月から2016年12月に特定非営利活動法人SHIPで行われたゲイのためのエイズ・性感染症検査において、SHIP検査の情報をどのように得たかを聞いたところ、SHIPのホームページからが53%、HIV検査・相談マップからが35%、9モニター（MSM向けサイト）が14%であった（図20）。

全国保健所および特設検査施設に対して実施したHIV検査相談に関するアンケート調査において、本サイトの利用状況等に関する質問をHIV/エイズ対策担当者に訊ねた。「当サイトを閲覧したことがあるか」の設問に対しては、「ある」との回答は、保健所では2015年は92%、2016年は94%、特設検査施設では2015年、2016年ともに100%であった（図21-24）。「当サイトが事業に役立っていると思うか」の設問では、「思う」との回答は保健所では2015年は77%、2016年は81%、特設検査施設では2015年は95%、2016年は100%であった（図25-28）。「当サイトを見て受検した方はいるか」については2015年のみ質問したところ、「いる」が保健所では22%、特設検査施設では75%であった（図29、30）。「いる」と回答した保健所、特設検査施設の123箇所中、受検者の50%以上が当サイトをみて受検したと回答した施設が16箇所あった。

D. 考察

2015年度は、全ページにゲイ向け HIV 情報サイト「HIV マップ」と HIV 陽性者向けサイト「Futures Japan」のリンクを設置し、幅広い HIV 関連情報の提供に努めた。2016年度は、

外国人の方へも広く日本の HIV 検査情報を提供できるよう、外国語ページの作成を行った。今後、利用状況把握のためにアクセス数等を注視していきたい。

年間サイトアクセス数は、2015年は186万件、2016年は151万件であり、2016年は2015年と比較して19%減となった。月別アクセス数では、2015年では、5月から10月までは前年度を下回っていたが、11月は米国俳優の HIV 感染公表のニュースにより前年度比40%増となったのに対し、2016年は毎月11~14万件とほぼ横ばいであった。日別アクセス数でも、2015年は米国俳優の HIV 感染公表のニュース当日である11月17日の日別アクセス数は24,702件、翌日の11月18日は36,946件となり、本ニュース関連で約9万件的アクセスの増加があった。2016年は、11月30日にSTI/HIV検査啓発資材（セーラームーン）の報道で一日に約18,000件のアクセスがあった以外には、突出してアクセス数が高い日は無かった。2015年は年間を通して、5,000件を超えた日は107日あったが、2016年は26日しかなく、2016年は国民に対してHIV/エイズの関心を引くニュースが少なかったことが示唆された。

参照元からのアクセス数をみると、検索エンジンからのアクセス数が全体の77%を占めており、「HIV」や「エイズ」の検索キーワードで高順位に表示されることから、本サイトへのアクセス誘導に結びついていると思われた。また、2012年度に作成したMSM向けバナーを設置していただいているサイトからのアクセス数もあることから、MSMの利用率が高いサイトにバナーを設置してもらうことで、感染リスクの高い層へのアプローチが可能になると考えた。

サイト内の「お問い合わせ」フォームへの問い合わせ内容では、受検した検査施設の不安や苦情や HIV 検査を受けるにあたっての質問が多かった。問い合わせに関しては、可能な限り研究班から発信者に返信を行い、正確

な情報の提供と過剰な不安の軽減に努めた。

受検者、特にMSMの方のHIV検査情報の入手方法を調査するために、特定非営利活動法人SHIPで行われたゲイのためのエイズ・性感染症検査において、SHIP検査の情報をどこで得たかを調査したところ、SHIPのホームページを直接見て情報を入手した方が53%であったが、当サイトから情報を入手した方も35%いた。このことから、MSMの方も当サイトを利用してHIV検査を受けていることが分かった。また、全国保健所および特設検査施設に対して実施したHIV検査相談に関するアンケート調査において、本サイトの利用状況等に関する質問をHIV/エイズ対策担当者に質問したところ、2016年の調査において「当サイトを閲覧したことがあるか」の設問に対しては、「ある」との回答は保健所は94%、特設検査施設は100%、「当サイトが事業に役立っていると思うか」の設問では、「思う」が保健所81%、特設検査施設100%であり、当サイトは自治体HIV/エイズ担当者に認知されており、HIV検査相談事業に寄与していることが示唆された。

2001年の開設から2016年末で1,702万アクセスを超え、現在も多くの方に当サイトを利用していただいている。当サイトは、日本赤十字社での献血者への配布文書や自治体サイト、啓発用パンフレット等において多方面で紹介されており、行政的にも有効活用されている。検索エンジンでもHIV/エイズ関連検索で常にトップに表示されており、厚生労働省の研究班が提供している信頼性の高いサイトとして多くの方に利用されていると考える。その結果、自治体等で実施されているHIV検査相談事業にも寄与しており、その展開・発展に不可欠なツールとなっている。今後も正確で最新のHIV検査情報を提供していくとともに、更なるHIV/エイズの理解促進と、受検アクセスの向上に寄与したいと考えている。

E. 結論

ホームページ「HIV検査・相談マップ」(<http://www.hivkensa.com>)を運営し、保健所等HIV検査相談施設の最新情報やHIV検査に関する基礎知識等の情報を継続的に提供した。また、アクセス解析から、利用状況や閲覧ページの動向等を調査した。

2016年はサイトへの訪問数が約151万件と前年比2割減となったことから、HIV/エイズへの関心の低下が危惧される。アンケート調査結果からは受検者と保健所担当者の双方が当サイトを活用していることが分かり、当サイトの保健所HIV検査相談事業への寄与が示唆された。本サイトアドレスは日本赤十字社での献血者への配布文書や自治体サイト、啓発用パンフレット等にも多方面で紹介されており、行政的にも非常に有効利用されていると考える。

F. 発表論文等

1. 論文

- 1) 佐野貴子、加藤真吾、今井光信. HIV無料・匿名検査相談の役割—保健所等HIV無料・匿名検査相談施設におけるHIV検査の現状と課題—, 日本エイズ学会誌, 17:125-132, 2015.
- 2) 須藤弘二、佐野貴子、近藤真規子、今井光信、加藤真吾. HIV郵送検査の現状と展望. 日本エイズ学会誌, 17:138-142, 2015.

2. 学会発表 (国内)

- 1) 佐野貴子、須藤弘二、星野慎二、井戸田一朗、杉浦太一、清水茂徳、近藤真規子、加藤真吾、今井光信、市川誠一. HIV検査・相談マップを用いたHIV検査相談施設の情報提供およびサイト利用状況の解析. 第30回日本エイズ学会学術集会・総会, 2016年11月24-26日、鹿児島.
- 2) 近藤真規子、佐野貴子、吉村幸浩、立川夏夫、岩室紳也、井戸田一朗、山中 晃、武部 豊、

今井光信、加藤真吾. 中国のMSM間で大流行しているHIV-1 CRF01_AE variantの日本国内への拡散. 第30回日本エイズ学会学術集会・総会、2016年11月24-26日、鹿児島.

- 3) 星野慎二、井戸田一朗、佐野貴子、近藤真規子、今井光信、加藤真吾. 全国保健所における梅毒検査体制のアンケート調査. 第30回日本エイズ学会学術集会・総会、2016年11月24-26日、鹿児島.
- 4) 須藤弘二、佐野貴子、近藤真規子、今井光信、木村 哲、加藤真吾. HIV 郵送検査に関する実態調査と検査精度調査 (2015). 第30回日本エイズ学会学術集会・総会、2016年11月24-26日、鹿児島.
- 5) 加藤真吾、須藤弘二、佐野貴子、近藤真規子、藤原 宏、長谷川直樹. CDCが推奨するHIV

検査手順の検討とHIV-1/2鑑別検査キットGeeniusの検討. 第30回日本エイズ学会学術集会・総会、2016年11月24-26日、鹿児島.

- 6) 佐野貴子、近藤真規子、須藤弘二、今井光信、加藤真吾. 民間検査センターにおけるHIV検査の実施状況に関する調査. 第29回日本エイズ学会学術集会・総会、2015年11月30日-12月1日、東京.
- 7) 近藤真規子、佐野貴子、井戸田一朗、山中晃、川畑拓也、森 治代、岩室紳也、吉村幸浩、立川夏夫、今井光信. 新規HIV感染者における年次別感染初期割合の推移. 第29回日本エイズ学会学術集会・総会、2015年11月30日-12月1日、東京.

図1

ホームページの施設情報、検査イベント情報、 情報修正依頼件数

	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年
掲載依頼	645	663	664	666	666	664
施設情報	111	173	200	177	157	186
検査イベント情報	379	377	462	591	345	373

図2

図2は、HIV検査情報アプリのウェブサイトのスクリーンショットを示しています。上部には「HIV検査情報アプリ」の紹介があり、検索機能や検査の予約方法が紹介されています。下部には「HIV検査情報アプリ」のダウンロードリンクと、Futures Japanのロゴが確認できます。

図2の上部には、「HIVマップ (トップページ)」のスクリーンショットが示されています。このページには、HIV検査の重要性や検査方法に関する情報が提供されています。

<Futures Japan (陽性とわかったばかりの人へ)>

図2の下部には、「Futures Japan」のウェブサイトのスクリーンショットが示されています。このサイトは、HIV陽性と診断されたばかりの人々に対するサポートを提供しています。

図3

外国語ページの作成

- 英語、ポルトガル語、スペイン語、タイ語、中国語、タガログ語、韓国語、ベトナム語、やさしい日本語で作成

外国語対応	英語	ポルトガル語	スペイン語	タイ語	中国語	タガログ語	韓国語	ベトナム語	やさしい日本語
HIV検査について の解説	説明文と図	図のみ	図のみ	図のみ	図のみ	図のみ	図のみ	図のみ	説明文と図
検査施設紹介	8か所	2か所	3か所	3か所	1か所	1か所	3か所	1か所	×
電話相談	8か所	3か所	3か所	4か所	1か所	2か所	1か所	1か所	×

図1：HIV検査の受検から結果を聞くまで
図2：HIV検査の流れ（通常検査、即日検査）

図4

サイトアクセス数 (2001年-2016年)

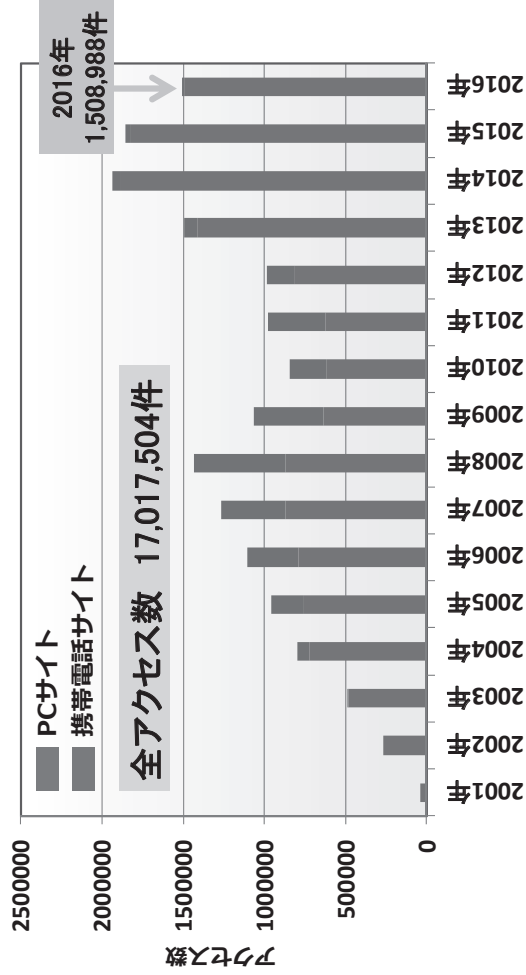


図5

情報端末別訪問数の推移(2010年~2016年)

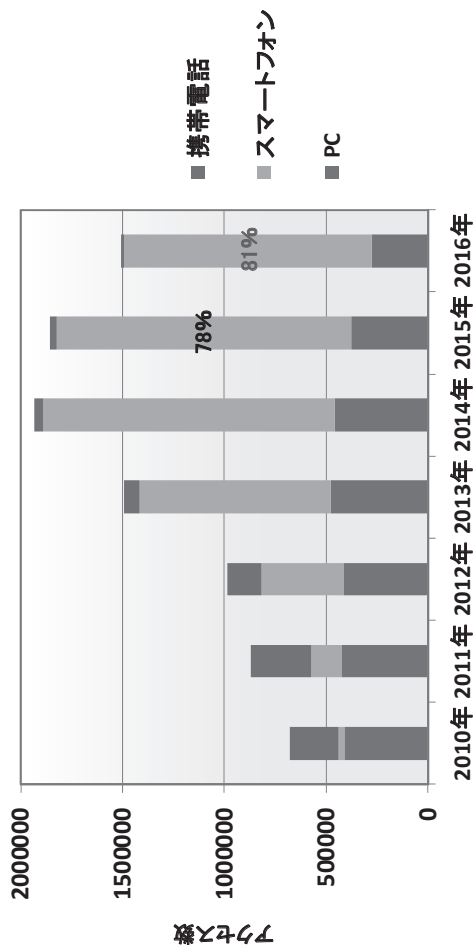


図6

訪問者(新規・リピーター)割合

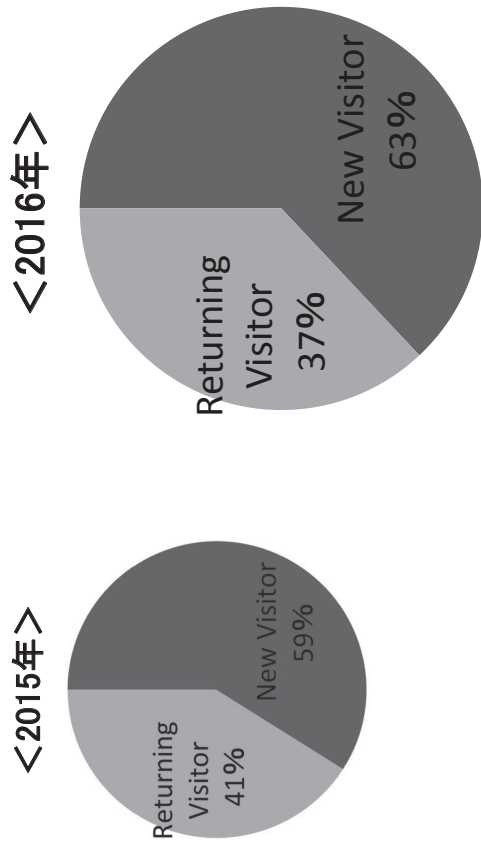


図7

月別アクセス数の推移(2011年~2016年)

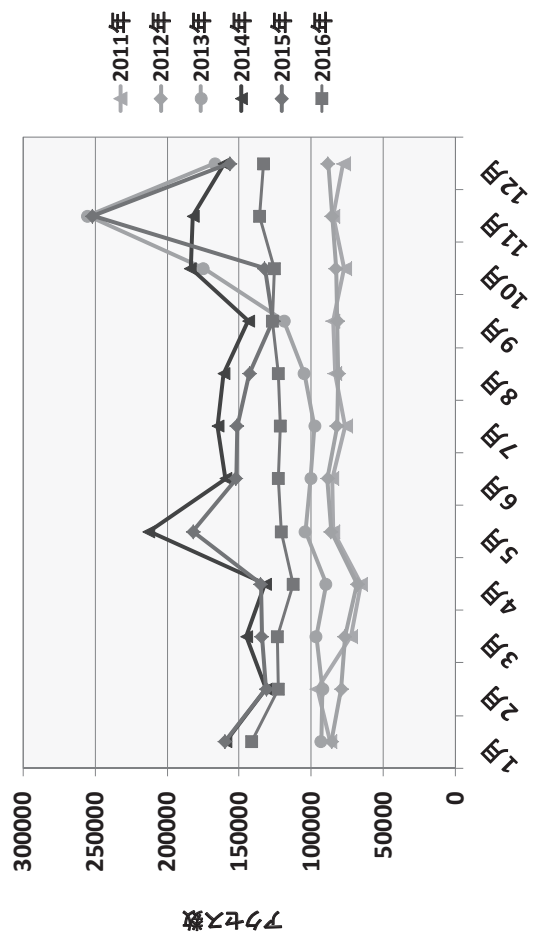


図8

日別訪問数(2015年、2016年)

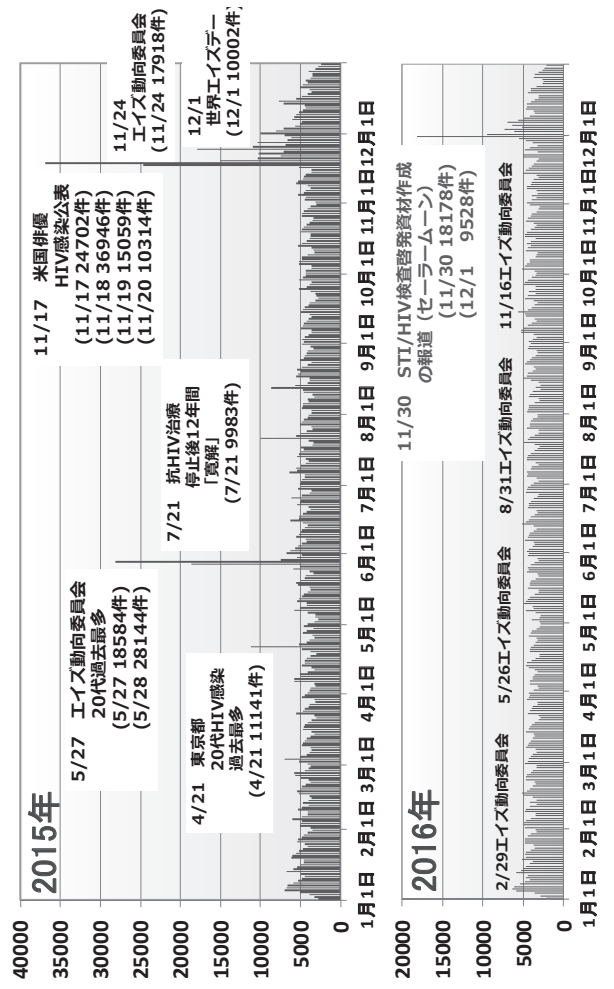


図9

STI/HIV検査啓発資材での
サイトアドレス紹介
(厚生労働省結核感染症課)
2016年11月21日

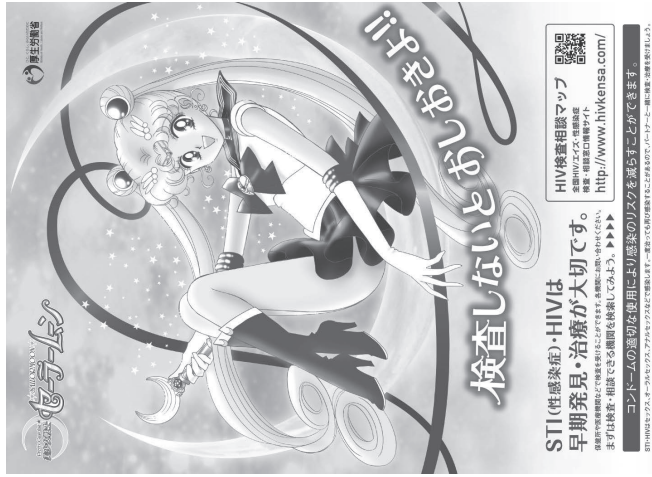
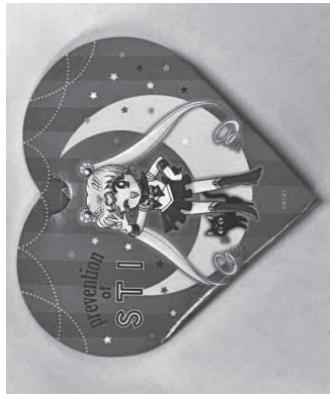


図11

検索都道府県別アクセス数 (2016年)

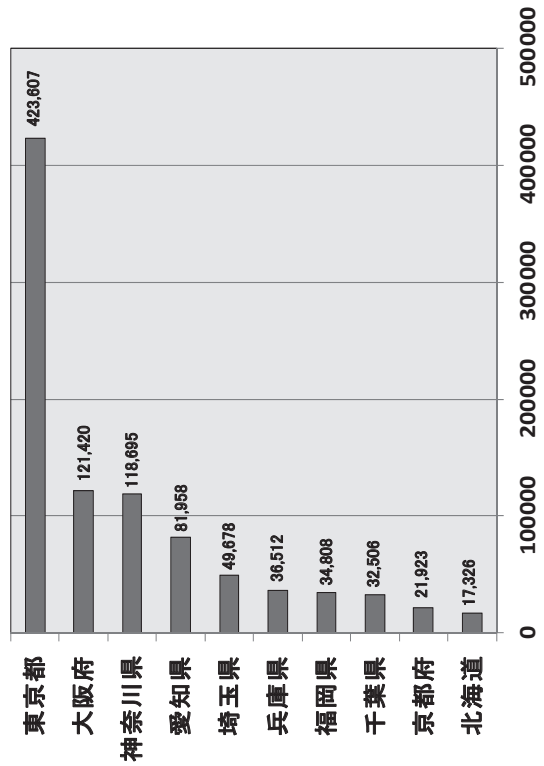


図12

参照元からのアクセス数 (2015年)

順位	参照元	アクセス数
1	Google 検索	769,653
2	Yahoo! JAPAN 検索	549,740
3	Direct access	260,905
4	Yahoo!ニュース・知恵袋 リンク	61,358
5	はじめての性病検査 リンク	45,926
6	ドコモ 検索	22,406
7	bing 検索	20,292
8	au 検索	8,283
9	HIV感染症(エイズ)の検査・ 症状100問100答	6,389
10	東京都	5,039

図10

検索都道府県別アクセス数 (2015年)

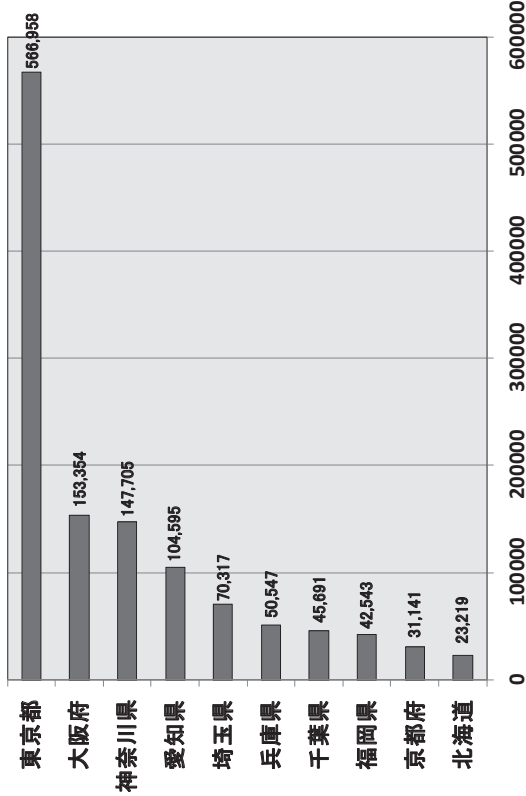


図13

参照元からのアクセス数 (2016年)

参照元	アクセス数
1 Google 検索	706,162
2 Yahoo! JAPAN 検索	430,337
3 Direct access	173,607
4 はじめての性病検査 リンク	48,914
5 Yahoo!ニュース・知恵袋 リンク	20,836
6 bing 検索	20,118
7 ドコモ 検索	15,890
8 HIV感染症(エイズ)の検査・ 症状100問100答 リンク	13,348
9 東京都 リンク	5,502
10 au 検索	4,701

図14

チャネル別アクセス割合 (2016年)

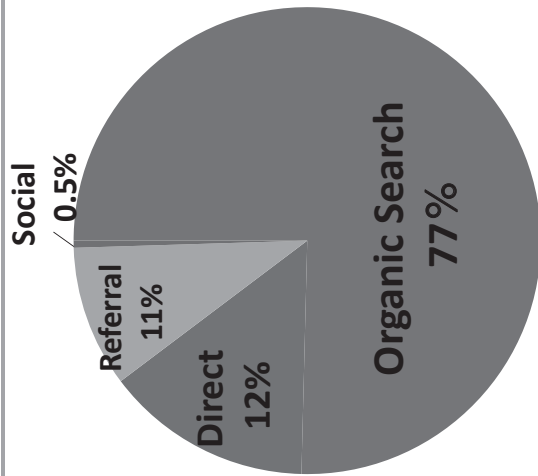


図15

リンク元からのアクセス数 (2016年)

参照元	アクセス数
1 はじめての性病検査	48,914
2 HIV感染症(エイズ)の検査・ 症状100問100答	13,348
3 東京都	5,502
4 KO MENS.TV *	3,433
5 Men's Net Japan *	1,908
6 G-men *	1,878
7 Twitter	1,537
8 東京都新宿検査相談室	1,489
9 日本赤十字社	1,280
10 ハッテンナビ 東京*	1,130
11 カナジヨ *	963

*ゲイ向け
サイト

図16

公共サイトからのアクセス数 (2016年)

参照元	アクセス数
1 東京都福祉保健局	5,502
2 東京都南新宿検査相談室	1,489
3 日本赤十字社	1,280
4 HIVマップ	855
5 エイズ予防情報ネット	694
6 神奈川県	614
7 大阪府	556
8 性の健康医学財団	550
9 横浜市	508
10 厚生労働省	437

図17

検索エンジン 検索用語別表示順位

検索エンジン	検索用語順位 (2016年12月)		
	HIV	エイズ	AIDS 検査
Google	1	2	15
Yahoo! JAPAN	1	2	15
bing	1	3	15

図19

問い合わせ件数・内容 (2016年)

2016 「HIV検査・相談マップへの」問い合わせ	37件
受検した検査施設の不安、苦情、要望 (注射器・手袋からの感染不安、検査施設の対応、予約が取れない)	9
HIV検査を受けるにあたっての質問 (結果通知の方法、性感染症検査、聴覚障害者の受検)	9
リンク・アドレス紹介、内容引用希望	8
検査結果の解釈について(HIV、HBV)	4
HIV検査・相談マップ紹介カード送付依頼	3
感染リスク・感染不安について	2
HIV陽性者の歯科受診について	1
郵送検査について	1

図18

問い合わせ件数・内容 (2015年)

2015 「HIV検査・相談マップへの」問い合わせ	44件
HIV検査を受けるにあたっての質問 (住居地以外での検査、検査費用、子供の検査、薬の影響)	9
受検した検査施設の感想、不安、苦情 (職員の対応、注射針、手袋、検査結果の信頼性、結果返却)	8
掲載情報等の内容について	7
性的接触による感染リスクについて	4
当サイトの紹介(リンク)、掲載希望	4
感染リスクからの検査日までの期間による結果解釈について	3
HIV陽性判明後の通院・服薬等について	3
HIV/エイズの基本的な質問	2
性感染症検査の受検希望	2
保健所の検査体制について	2

図20

SHIP検査でのアンケート結果 (2015年9月～2016年12月)

Q. 当検査を何で知りましたか？ (複数回答) (n=162)

情報収集手段	回答者数	回答率
SHIPのホームページ	86	53%
HIV検査・相談マップ	56	35%
9モンスター	23	14%
HIVマップ	10	6%
クチコミなど	8	5%
MNJ	5	3%
パンフレットなど	3	2%
Mixi	0	0%
HuGs	0	0%
Mens Mixi	0	0%
テレビ・新聞など	0	0%
電話相談など	0	0%

図21

(2015年)

ホームページ「HIV検査・相談マップ」を
ご覧になったことはありますか？（保健所）

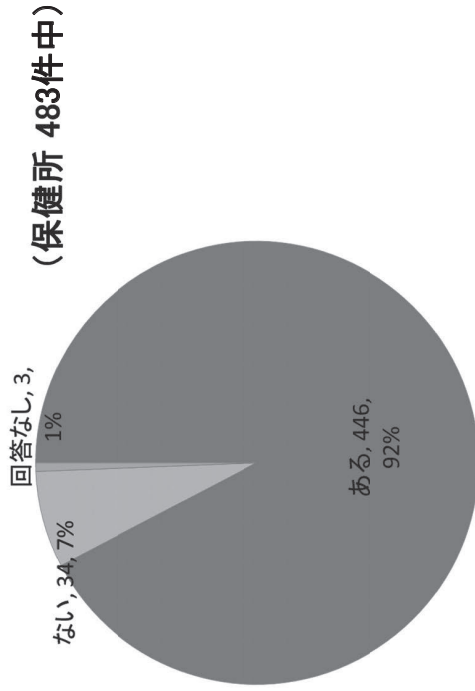


図22

(2016年)

ホームページ「HIV検査・相談マップ」を
ご覧になったことはありますか？（保健所）

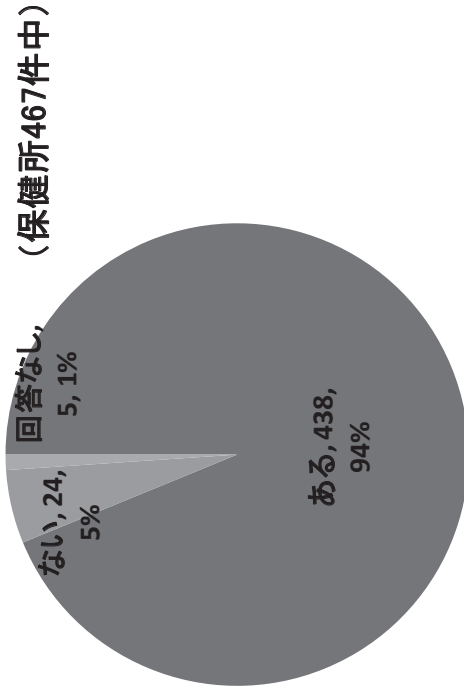


図23

(2015年)

ホームページ「HIV検査・相談マップ」を
ご覧になったことはありますか？（特設）

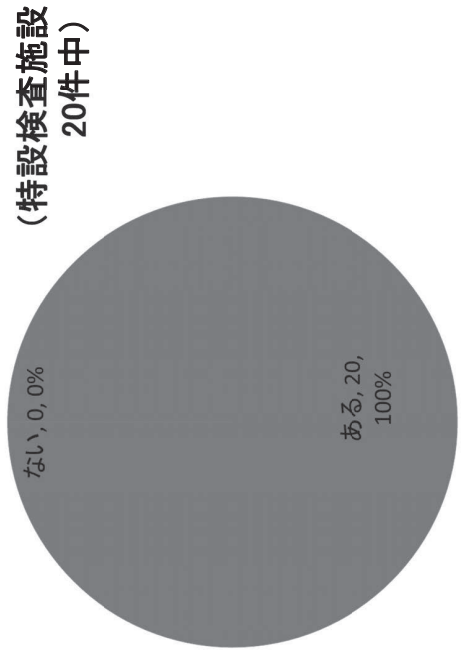


図24

(2016年)

ホームページ「HIV検査・相談マップ」を
ご覧になったことはありますか？（特設）

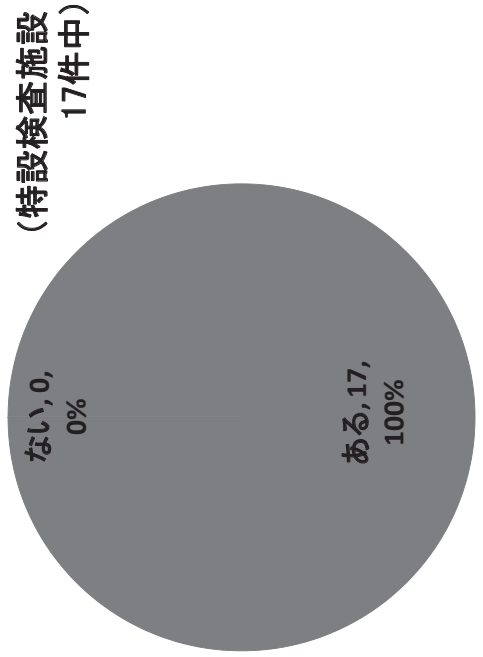


図25

(2015年)

「HIV検査・相談マップ」は検査相談事業に
役立っていると思いますか？（保健所）

(保健所 483件中)

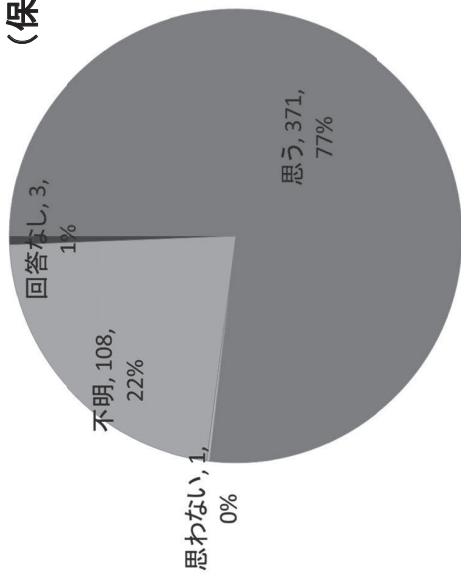


図26

(2016年)

「HIV検査・相談マップ」は検査相談事業に
役立っていると思いますか？（保健所）

(保健所467件中)

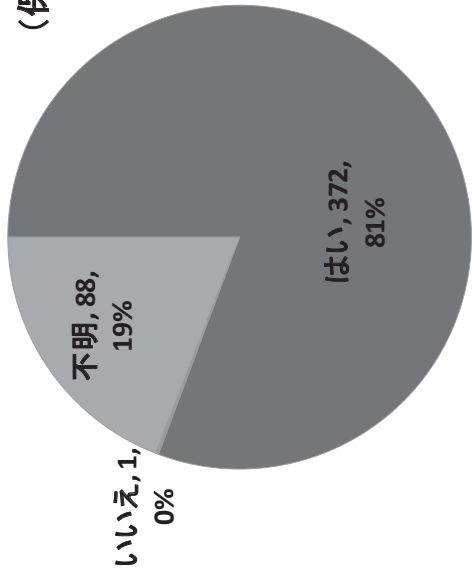


図27

(2015年)

「HIV検査・相談マップ」は検査相談事業に
役立っていると思いますか？（特設）

(特設検査施設
20件中)

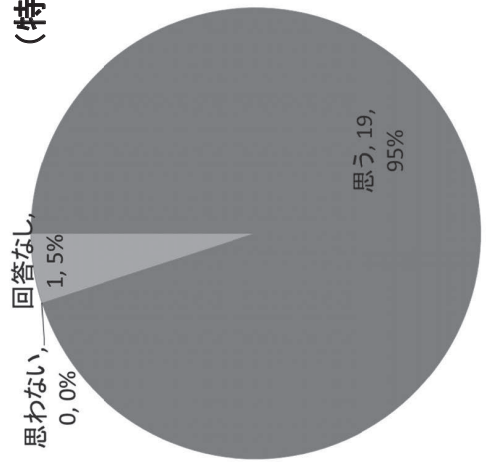


図28

(2016年)

「HIV検査・相談マップ」は検査相談事業に
役立っていると思いますか？（特設）

(特設検査施設
17件中)

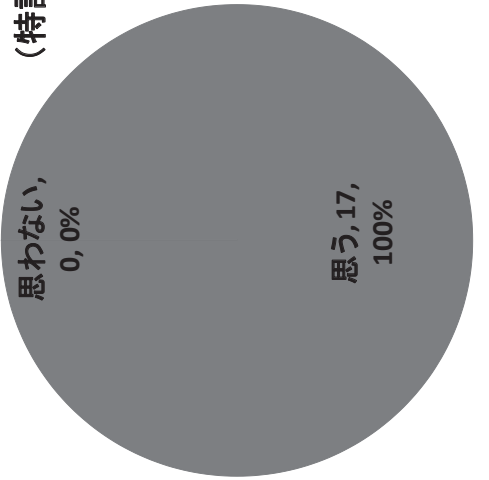


図29

(2015年)

「HIV検査・相談マップ」から情報を得て
受検された方はいらっしゃいますか？（保健所）

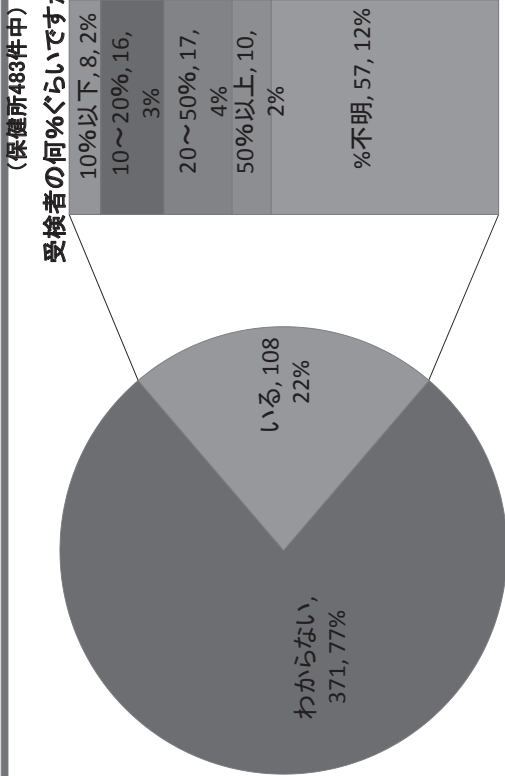


図30

(2015年)

「HIV検査・相談マップ」から情報を得て
受検された方はいらっしゃいますか？（特設）

